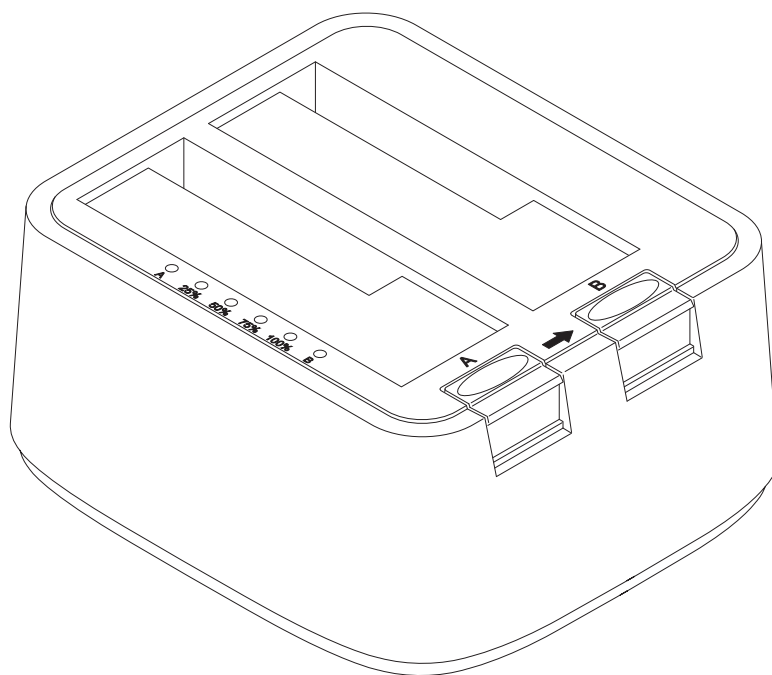


KURO-DACHI/CLONE/CRU3シリーズ

ユーザーマニュアル



<https://www.kuroutoshikou.com/>

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。なお、本書には当社製品だけでなく、パソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

本製品およびパソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、当社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	△は、警告・注意を促す記号です。 △の近くに具体的な警告内容が描かれています。 (例:  感電注意)
	○に斜線は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。 (例:  分解禁止)
	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容が描かれています。 (例:  電源プラグをコンセントから抜く)

警告

 禁止	AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、ACアダプターを差し込まないでください。 海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。
--	---

 強制	ACアダプターは、コンセントに完全に差し込んでください。 差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因になり、火災や感電の恐れがあります。
 分解禁止	本製品の分解・改造・修理を絶対にしないでください。 火災、感電や故障の原因になります。また、本製品のシールやケースを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 禁止	ACアダプターを傷つけたり、加熱したりしないでください。火災や感電の原因になります。 ・ ACアダプターのケーブルを壁や棚などの間にはさみ込んだり、重いものを上にのせたりしないでください。 ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。 ・ ACアダプターを抜くときは、必ずアダプター部分を持って抜いてください。 ・ ACアダプターのケーブルを引っ張ったり、極端に折り曲げたりしないでください。 ・ ACアダプターを接続したまま、機器を移動しないでください。 万一、ACアダプターが傷んだら、当社メールサポートまたはお買い求めの販売店にご相談ください。
 禁止	濡れた手で本製品に触らないでください。 感電や故障の原因になります。
 水場での使用禁止	水や湿気が多い場所や、漏電・漏水の危険があるところでは、本製品を使用しないでください。 火災、感電や故障の原因になります。
 禁止	本製品を落したり、強い衝撃を与えたりしないでください。衝撃を与えてしまった場合は、すぐにコンセントからACアダプターを抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。当社メールサポートまたはお買い求めの販売店にご相談ください。
 強制	液体や異物などが本製品の内部に入ってしまったら、煙が出たり、異臭、異音がしたら、すぐに本製品の使用を中止してください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。当社メールサポートまたはお買い求めの販売店にご相談ください。
 強制	ACアダプターのほこりは定期的に取り除いてください。 プラグとコンセントの間にほこりがたまると、湿気などの影響により火災の原因になります。
 禁止	本製品を布や布団などで覆った状態で使用しないでください。 熱がこもって変形、やけどや火災の原因になります。
 強制	ACアダプターは、必ず本製品付属のものをお使いください。 本製品付属以外のACアダプターをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の原因になります。

注意

 強制	USBケーブルは、本製品付属のものをご使用ください。 本製品付属以外のUSBケーブルをご使用になると、故障の原因になります。
 禁止	本製品にアクセスしている間は、次のことをしないでください。 ・ USBケーブルやACアダプターを抜くこと ・ パソコンの電源をOFFにすること 本製品内のデータが消失・破損する恐れがあります。 バックアップ作成を怠ったために、データを消失・破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 禁止	次の場所には設置しないでください。故障の原因になります。 強い磁界、静電気が発生する場所・温度、湿度が本製品の使用環境を超える場所・結露する場所・ほこりの多い場所
 禁止	振動する場所、平らでない場所には設置しないでください。 故障や破損の原因になります。また、転倒したり、落下して、けがの原因になります。
 禁止	直射日光の当たる場所、熱気のこもる場所、暖房器具の近くには設置しないでください。 故障や変形の原因になります。
 強制	本製品およびケーブル類は、小さなお子様の手が届かないように配置してください。 触ってけがをする恐れがあります。
 強制	本製品の接続端子には手を触れないでください。周辺のカリヤやほこりなどは取り除いてください。 故障の原因になります。
 禁止	本製品の上や周りに物を置かないでください。 傷がついたり、熱がこもることによる故障の原因になったりします。

使用上の注意

- 本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。
- ケーブル類を引っ張って本製品を動かさないでください。
故障の原因となります。
- 本製品の動作中に停電が起こった場合(雷などによる瞬間的な停電も含む)、本製品が故障したり、HDDやSSD内のデータが消失・破損する恐れがあります。また、データの書き込み中だった場合、そのデータは書き込まれません。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。
- 本製品には、HDDやSSDをむき出しのまま接続します。静電気や水分は故障の原因になりますので、静電気防止バンドを使用するなど、静電気や水気を避けるようにお取り扱いください。
- HDDやSSDの保護のため、未使用時は本製品からドライブを取り外してください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお守りください....	1
使用している表示と絵記号の意味.....	1
⚠ 警告.....	1
⚠ 注意.....	3
使用上の注意	4
第 1 章 本製品の概要.....	7
本製品でできること	7
パッケージ内容	7
各部の名称とはたらき	8
ドライブの挿し方/取り外し方	9
HDD省電力機能について	10
第 2 章 外付けUSBドライブとして使う	11
使い方.....	11
ドライブのフォーマット	11
フォーマット時のご注意	11
フォーマット方法	11
第 3 章 クローン(コピー)機として使う	21
クローン機能の仕様・制限事項	21
クローン方法	21

エラースキップ機能について	24
---------------------	----

第4章 困ったときは..... 25

ドライブがパソコンに認識されない	25
ドライブのフォーマットに非常に時間がかかる	25
本製品に接続したドライブからWindowsを起動できない	26
クローンを実行しても処理が進まない	26
クローンでドライブを認識しない	27
クローン元とクローン先が同容量なのにクローンできない	27
クローンが途中で止まってしまう	27
クローン元のデータ量よりクローン先のドライブの容量が大きいのに、クローンできない	27
データドライブのクローン後に、クローン元とクローン先を同時にパソコンへ接続すると、1台しか認識されない	28
クローンで「未割り当て」になった領域を使いたい	31

付録

製品仕様	37
本書について	37
免責事項	38
商標・登録商標	38

第1章 本製品の概要

本製品でできること

本製品では、下記のことができます。

- ドライブ(HDDやSSD)を接続して、USBドライブとして使用できます。
2台のドライブを接続した場合は、別々のドライブとして認識されます。
- Aスロットに接続したドライブの内容を、Bスロットに接続したドライブにクローンできます。

パッケージ内容

- パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、初期不良対応期間内にお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 初期不良対応期間についての詳細は、販売店にご確認ください。

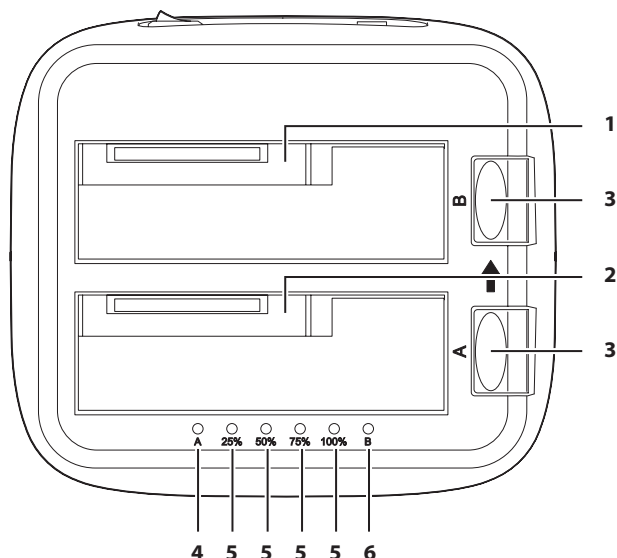
KURO-DACHI/CLONE/CRU3

- 本体..... 1台
- ACアダプター..... 1個
- USB 3.2(Gen1)ケーブル..... 1本

メモ: 別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

各部の名称とはたらき

上面



1 Bスロット

ドライブ(HDDやSSD)を接続します。
クローン時は、**クローン先**のドライブを接続します。

2 Aスロット

ドライブ(HDDやSSD)を接続します。
クローン時は、**クローン元**のドライブを接続します。

3 ドライブ取り外しボタン

ドライブを取り外すときに押します。
必ずドライブに手を添えてから取り外しボタンを押してください。手を添えずに取り外しボタンを押すと、ドライブが飛び出すことがあります。

メモ: 本製品の電源がONのときは、ドライブを取り外さないでください。ドライブや本製品が故障する恐れがあります。

4 Aランプ

Aスロットの状態を表示します。
点灯(緑): ドライブを認識中
点滅(緑): アクセス中
点灯(赤)または消灯: ドライブが接続されていない、または認識されていない状態
点灯(赤橙): エラースキップ機能発生時またはドライブのS.M.A.R.T.情報に異常があるとき
点滅(赤橙と緑): クローン先のドライブの容量が、クローン元よりも少ないとき

5 25%、50%、75%、100%ランプ

クローンの進捗状況をランプの点灯・点滅で表示します。

6 Bランプ

Bランプの状態を表示します。

点灯(緑): ドライブを認識中

点滅(緑): アクセス中

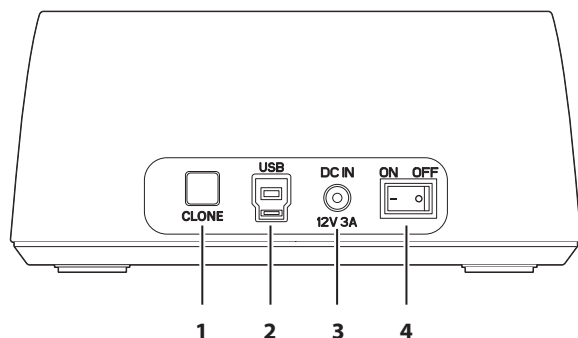
点灯(赤)または消灯: ドライブが接続されていない、または認識されていない状態

点灯(赤橙): エラースキップ機能発生時またはドライブのS.M.A.R.T.情報に異常があるとき

点滅(赤橙): クローン先ドライブに書き込みできないセクターが見つかったとき

点滅(赤橙と緑): クローン先のドライブの容量が、クローン元よりも少ないとき

背面



1 CLONEボタン

クローン機能を開始するときに使用します。開始方法は[「第3章 クローン\(コピー\)機として使う」\(P.21\)](#)を参照してください。

2 USB端子

付属のUSB ケーブルでパソコンを接続します。クローン機能を使用するときは、USB ケーブルを取り外してください。

3 DC端子

付属のACアダプターを接続します。

4 電源スイッチ(主電源)

ONにすると、本製品の電源がONになります。

ドライブの挿し方/取り外し方

ドライブを挿したり、取り外したりするときは、電源スイッチ(主電源)をOFFにしてから行ってください。

ドライブの挿し方

ドライブのSATAコネクタースロット奥のSATAコネクタの向きをあわせて、まっすぐに挿し込みます。2.5型ドライブの場合は、スロットカバーの切り欠けに挿し込みます。

メモ:

- SATAコネクタをしっかりと奥まで挿し込んでください。コネクタの挿し込みが浅いと、動作不良の原因になります。
- 必ず片手で本製品を支えながらドライブを挿入してください。

- ・ ドライブを挿し込む際、ドライブを落下させたり、強い力で押し付けしないでください。ドライブや本製品が故障する恐れがあります。

ドライブの取り外し方

ドライブに手を添えてから、ドライブ取り外しボタンを押します。

メモ: 手を添えずに取り外しボタンを押すと、ドライブが飛び出すことがあります。

HDD省電力機能について

使用していないときにHDDのモーターを停止することで、電力消費を軽減する機能です。以下の条件で機能が働きます。

- ・ パソコンがスリープ状態になったとき
- ・ バスパワーが常時供給され続けるUSB端子へ接続時、パソコンがOFFになったとき
- ・ Windowsの電源オプションで設定した省電力機能が動作したとき

メモ:

- ・ HDDが省電力状態時であっても本製品のランプは点灯した状態のままになります。
- ・ パソコンがOFFのときにバスパワーの供給が停止するUSB端子へ接続時、省電力機能は働きません。

第2章 外付けUSBドライブとして使う

本章では、本製品を外付けUSBドライブとして使う方法について説明します。

使い方

本製品をUSBドライブ(外付けのHDD/SSDケース)として使用する場合は、以下の手順でセットアップしてください。

1 本製品背面の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

2 AスロットやBスロットに、ドライブを挿します。

ドライブの挿し方についての注意点は、[「ドライブの挿し方/取り外し方」\(P.9\)](#)を参照してください。

3 ACアダプターを、本製品とコンセントに挿します。

4 本製品背面の電源スイッチをONにします。

ドライブがHDDの場合は、HDDの回転が安定するまで約20秒間待ってください。

5 USBケーブルの一方を、本製品に接続します。

6 USBケーブルのもう一方を、接続したい機器につなげます。

本製品がUSBドライブとして認識され、使用できるようになります。

新しいドライブの場合は、フォーマットが必要です。[「ドライブのフォーマット」\(P.11\)](#)を参照してフォーマットを行ってください。

ドライブのフォーマット

フォーマット時のご注意

- ・ フォーマットすると、ドライブ内のデータはすべて消去されます。
- ・ フォーマット中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。
ドライブが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。

フォーマット方法

ここでは例として、Windows標準の機能を使ってドライブをフォーマットする手順を説明します。
お使いの環境やドライブの状態によっては、手順の細部が異なる場合があります。
フォーマットについての詳細は、Windowsのヘルプを参照してください。

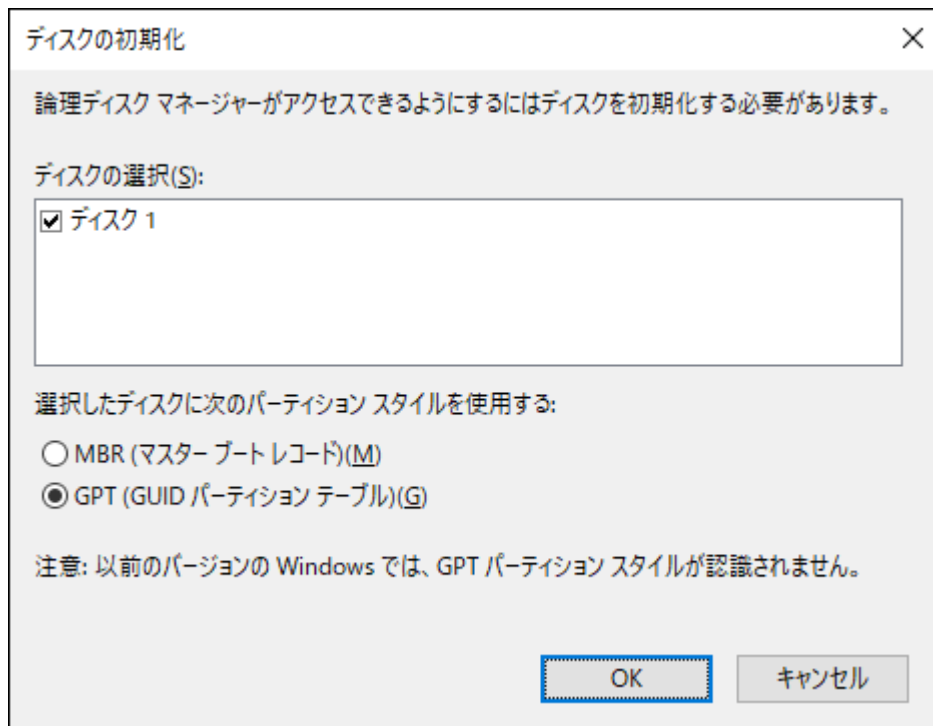
1 Windowsの「ディスクの管理」画面を表示します。

Windowsアイコン()を右クリックして、「ディスクの管理」を選択します。



メモ:「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[はい]を選択します。

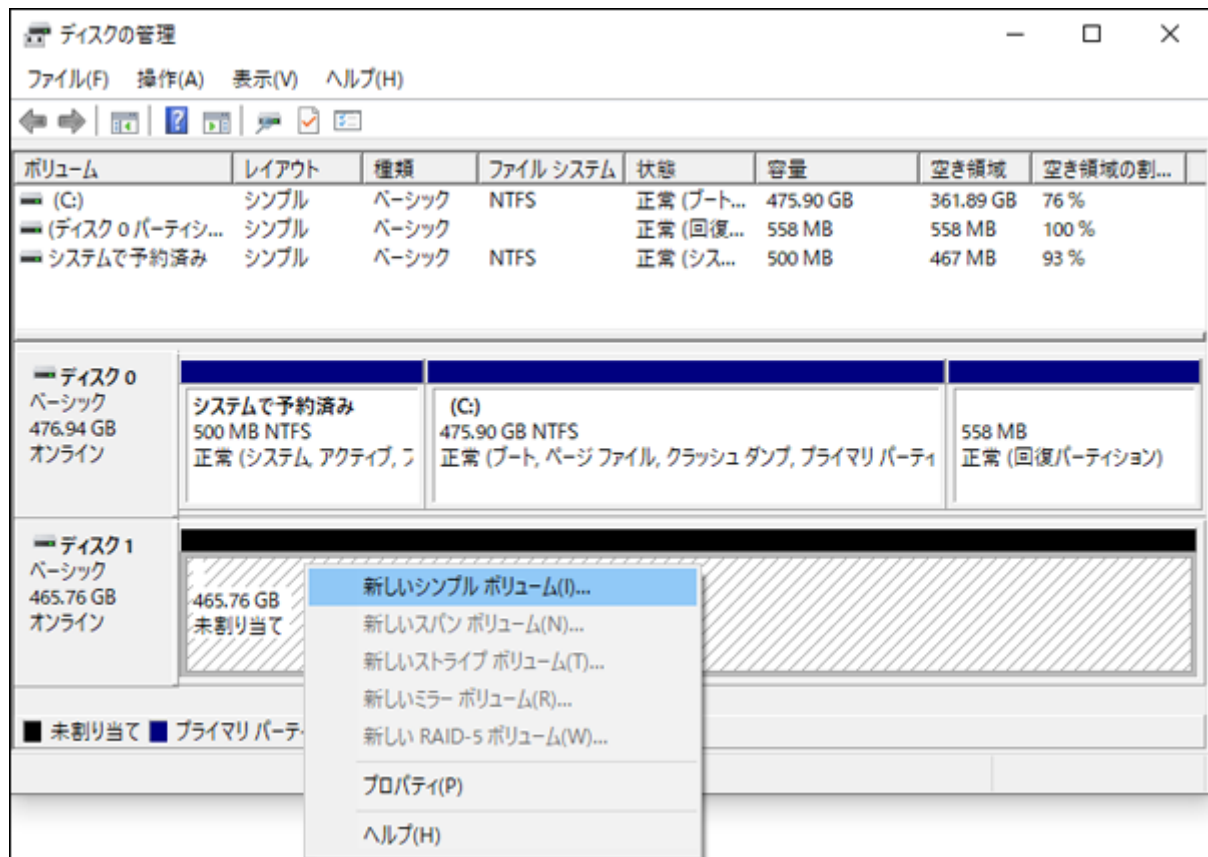
2 以下の画面が表示された場合は、パーティションスタイルを選択して、[OK]をクリックします。



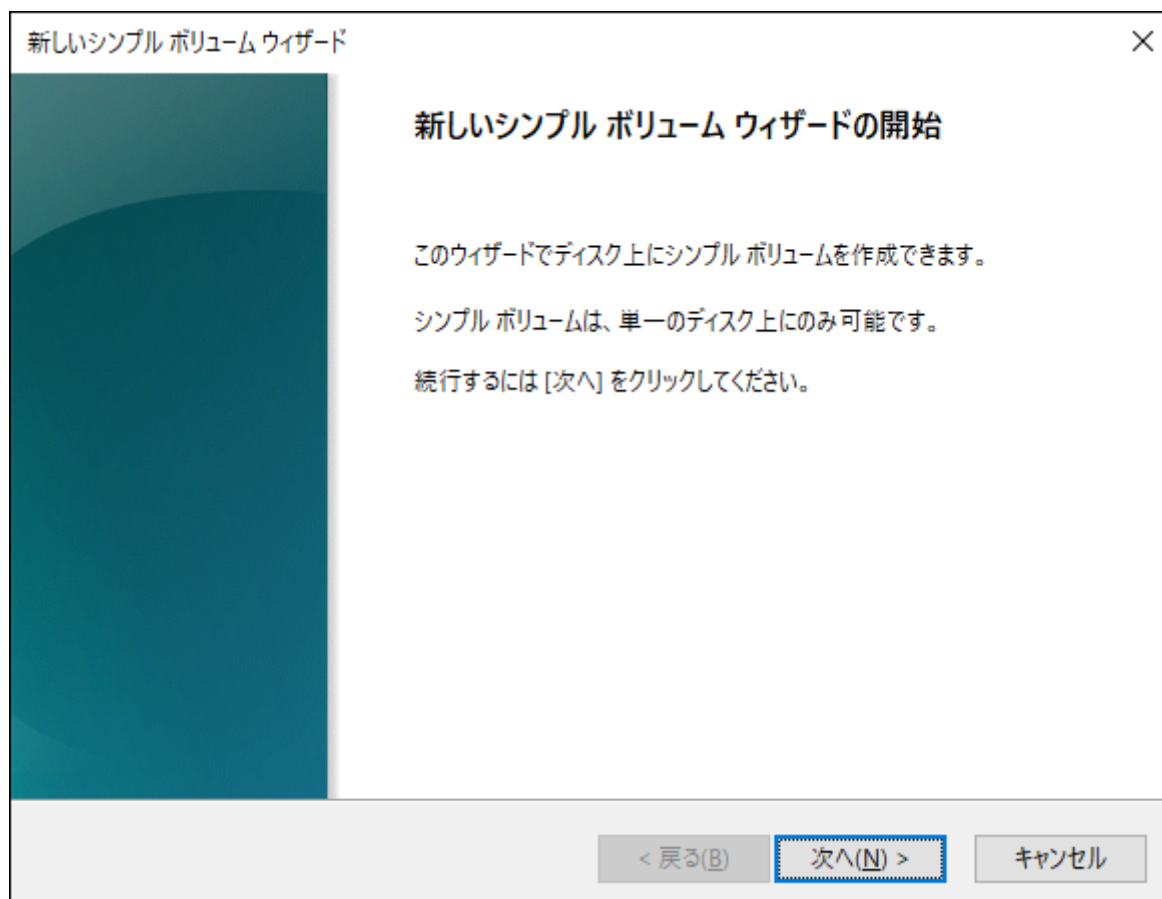
メモ:

- MBR(マスターブートレコード)は、1パーティションの上限が2TBまでという制限があります。主に Windows XP以前で使われていた形式であるため、Windows XPで使用する場合に選択してください。
- GPT(GUIDパーティションテーブル)は、Windows Vista以降に対応した形式で、2TB以上を1パーティションとして使用できます。大容量HDDを使用したり、Windows Vista以降で使用する場合に選択してください。

3 フォーマット対象のディスクにある、「未割り当て」領域を右クリックし、「新しいシンプルボリューム」を選択します。



4 [次へ]をクリックします。



5 [次へ]をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード

ボリューム サイズの指定
最小サイズと最大サイズの間でボリュームのサイズを選択してください。

最大ディスク領域 (MB): 476937

最小ディスク領域 (MB): 8

シンプル ボリューム サイズ (MB)(S): 476937

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

メモ:「シンプルボリュームサイズ」は、通常は初期設定のまま変更する必要はありません。パーティションを区切って、複数のドライブとして使用する場合は、任意の容量を設定してください。

6 「次のドライブ文字を割り当てる」を選択し、任意のドライブ名を設定して[次へ]をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード

×

ドライブ文字またはパスの割り当て

アクセスを簡単にするために、ドライブ文字またはドライブ パスをパーティションに割り当てるができます。

☒ 次のドライブ文字を割り当てる(A):

D ▾

☐ 次の空の NTFS フォルダーにマウントする(M):

参照(R)...

☐ ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない(D)

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

7 「このボリュームを次の設定でフォーマットする」を選択し、以下のように設定して、[次へ]をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード

パーティションのフォーマット

このパーティションにデータを格納するには、最初にパーティションをフォーマットする必要があります。

このボリュームをフォーマットするかどうかを選択してください。フォーマットする場合は、使用する設定を選択してください。

☐ このボリュームをフォーマットしない(D)

☒ このボリュームを次の設定でフォーマットする(Q):

ファイル システム(E):

NTFS

アロケーション ユニット サイズ(A):

既定値

ボリューム ラベル(V):

DATA

☒ クイック フォーマットする(P)

☐ ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする(E)

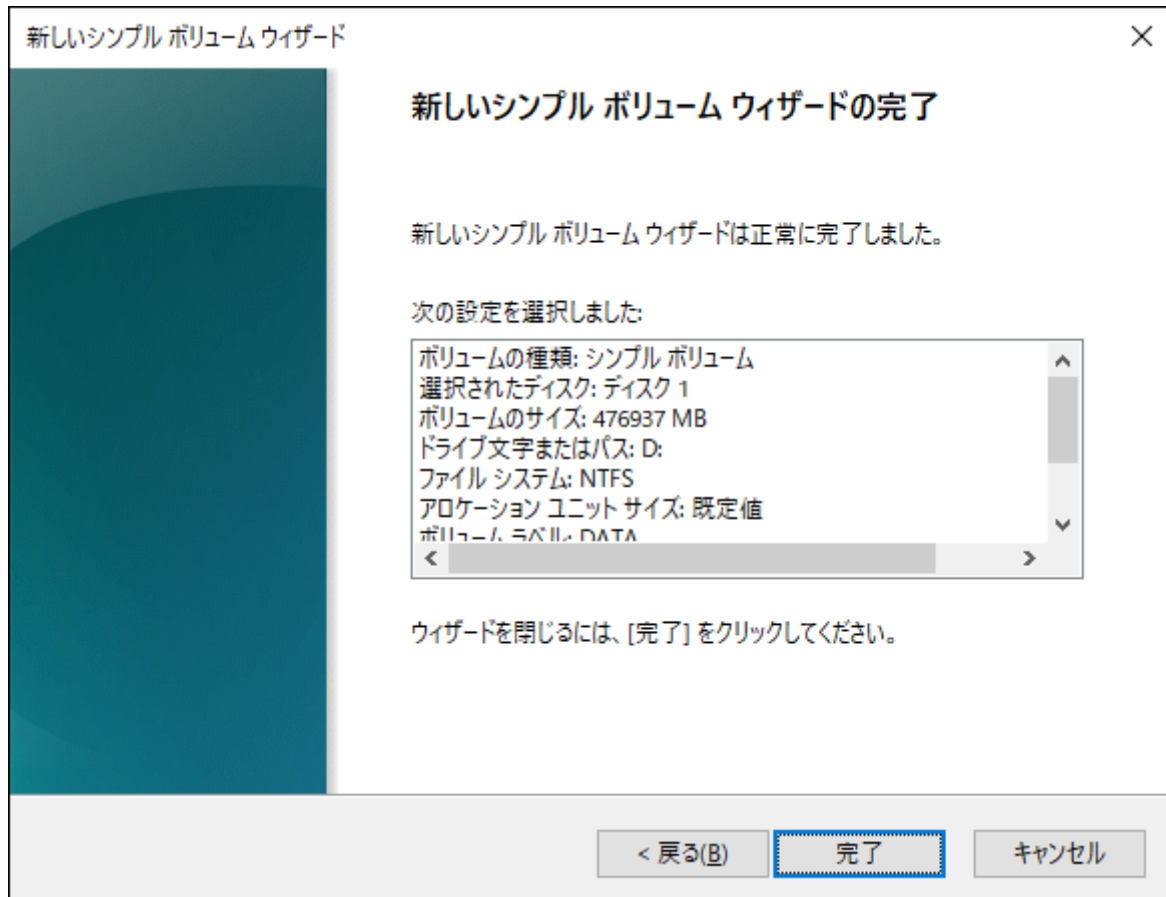
< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

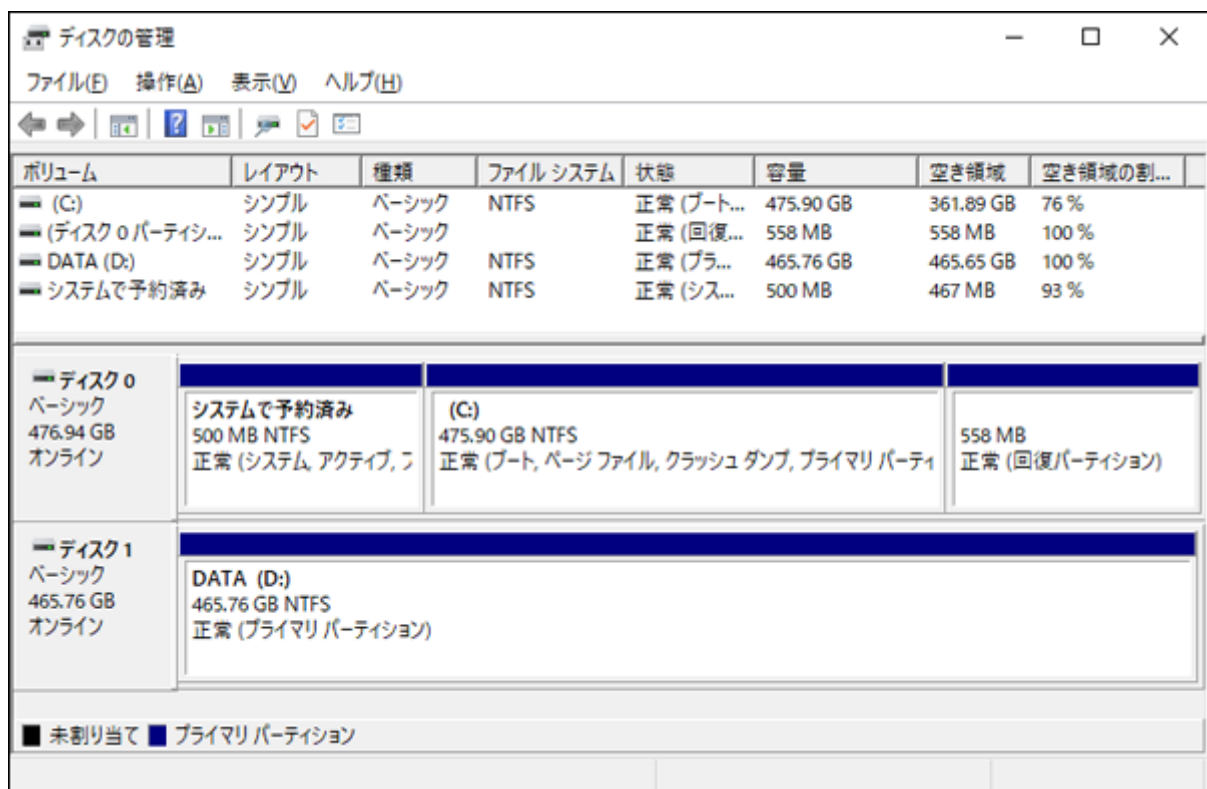
ファイルシステム	NTFS
アロケーションユニットサイズ	既定値
ボリュームラベル	任意の名称(例:DATA)
クイックフォーマットする	チェックあり
ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする	チェックなし

8 [完了]をクリックすると、フォーマットが始まります。



メモ: フォーマットを途中で中止したい場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、[フォーマットの中止]をクリックしてください。

9 フォーマットが正常に終了すると、手順3で選択した対象に「正常」と表示されます。



以上で完了です。

第3章 クローン(コピー)機として使う

本章では、本製品をクローン(コピー)機として使う方法について説明します。

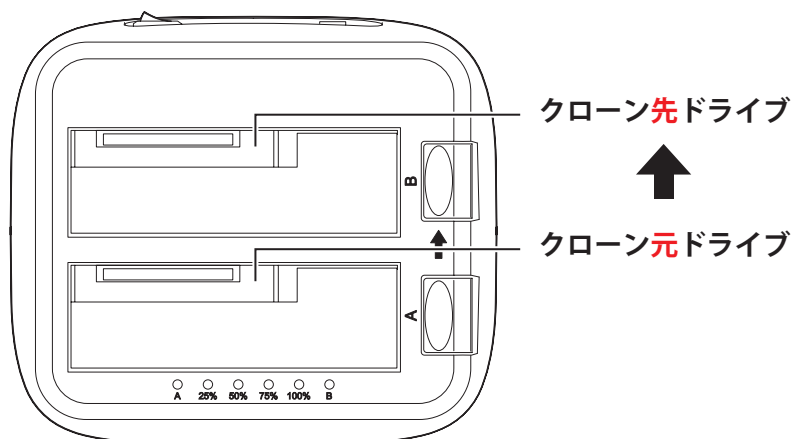
クローン機能の仕様・制限事項

- クローン機能を使用するときは、本製品の背面からUSBケーブルを取り外してください。
- クローン元のドライブは「Aスロット」に、クローン先のドライブは「Bスロット」にセットしてください。
- ドライブに不良セクターがあると、クローンできない場合があります。
- OSのリカバリー領域などの特殊領域は、クローンできても正常に動作しないことがあります。
- クローン中に本製品の電源をOFFにしないでください。ドライブが故障する恐れがあります。
- クローンにかかる時間は、ドライブによって異なります。
- クローン先のドライブは、クローン元よりも容量の大きいものをご使用ください。**
これは、ドライブの使用容量ではなく、全容量です。
たとえば、下記のケースではクローンができないため、ご注意ください。
 - クローン元： 全容量が500GB(そのうち、80GBを使用)
 - クローン先： 全容量が250GB(新品で未使用)**メモ:** 上記の場合は、クローン先に全容量が500GB以上のドライブを使用するとクローンできます。

クローン方法

本製品でHDDやSSDをクローンする場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 本製品背面の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- 2 USBケーブルを取り外します。
- 3 各スロットにドライブを挿し込みます。



メモ: HDDやSSDを挿すスロットを間違えると、データが消去されてしまいます。スロットを間違えないようにご注意ください。

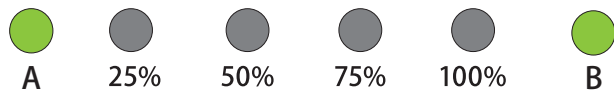
4 ACアダプターを、本製品とコンセントに挿します。

5 本製品背面の電源スイッチをONにします。

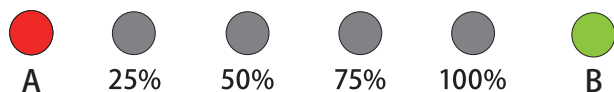
6 Aスロット、Bスロットのドライブが認識されていることを上面のランプで確認します。

緑色点灯:  消灯:  赤色点灯: 

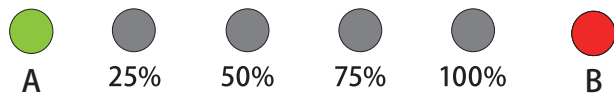
Aスロット、Bスロットのドライブが認識されている状態



Aスロットのドライブが認識されていない状態



Bスロットのドライブが認識されていない状態

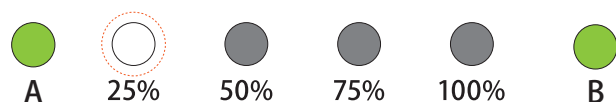


- 7** 本製品背面のCLONEボタンを上面の25%、50%、75%、100%ランプがすべて白色点滅するまで(3秒以上)押しつづけてから離します。上面の25%、50%、75%、100%ランプが白色点滅している間にもう一度CLONEボタンを押してからすぐに離します。25%ランプが白色点滅したら、クローンが開始されます。ドライブによっては開始までに約10秒かかることがあります。

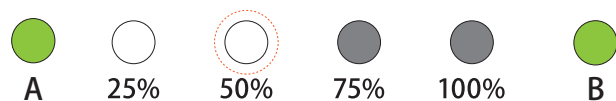
メモ: クローンが開始しないときは、[「クローンを実行しても処理が進まない」\(P.26\)](#)を参照してください。

白色点灯:  白色点滅: 

クローン作業中 (進捗: 0%以上 25%未満)



クローン作業中 (進捗: 25%以上 50%未満)



クローン作業中 (進捗: 50%以上 75%未満)



クローン作業中 (進捗: 75%以上 100%未満)



クローン作業完了 (進捗: 100%)



- 8** クローンが完了すると、25%、50%、75%、100%ランプが白色に点灯します。本製品の電源をOFFにして、ドライブを取り外してください。

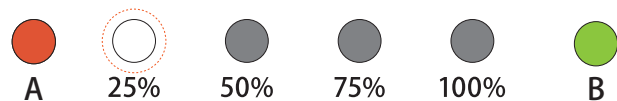
以上で完了です。

エラースキップ機能について

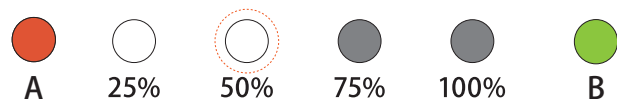
クローン元ドライブに読み取りできないセクター(不良セクター)がある場合、エラーのあるセクターを飛ばしてクローンを行います。エラースキップ機能が発生したら、Aランプが赤橙色に点灯します。

赤橙色点灯：

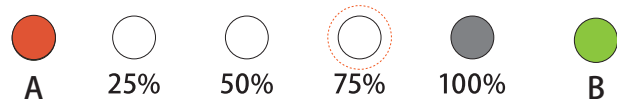
クローン作業中（進捗：0%以上 25%未満）



クローン作業中（進捗：25%以上 50%未満）



クローン作業中（進捗：50%以上 75%未満）



クローン作業中（進捗：75%以上 100%未満）



クローン作業完了（進捗：100%）



メモ:

- 動作が不安定なドライブのクローンを保証するものではありません。
- クローン先ドライブは対応しておりません。

書き込みできないセクターがある場合、見つかった時点でコピーを中止し、Bランプが赤橙色に点滅します。

第4章 困ったときは

本章では、本製品を使用していて、困ったときの対処について説明します。

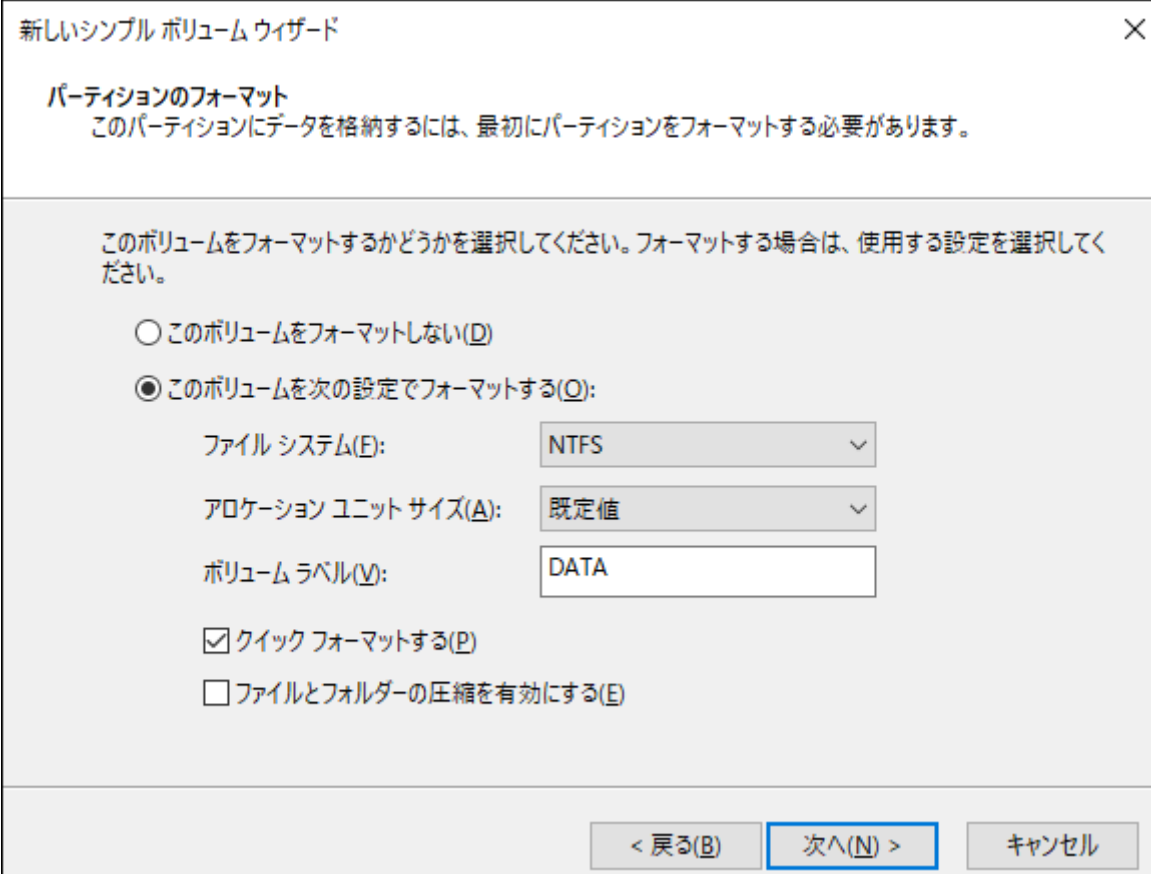
ドライブがパソコンに認識されない

以下をお試しください。

- ドライブが本製品に正しく挿し込まれているか。
パソコンによっては、本製品を接続したまま起動すると認識されないことがあります。その場合は、Windowsが起動してから本製品をパソコンに接続してください。
- USBケーブルやACアダプターが正しく接続されているか。
- ドライブをフォーマットしているか。
ドライブのフォーマット方法は、[「ドライブのフォーマット」\(P.11\)](#)を参照してください。

ドライブのフォーマットに非常に時間がかかる

クイックフォーマットではなく、通常フォーマットが実行されている可能性があります。[「ドライブのフォーマット」\(P.11\)](#)の手順でフォーマットする場合、手順7で「クイックフォーマットする」のチェックマークをつけて実行してください。



新しいシンプル ボリューム ウィザード

パーティションのフォーマット
このパーティションにデータを格納するには、最初にパーティションをフォーマットする必要があります。

このボリュームをフォーマットするかどうかを選択してください。フォーマットする場合は、使用する設定を選択してください。

☐ このボリュームをフォーマットしない(D)

☒ このボリュームを次の設定でフォーマットする(Q):

ファイル システム(E): NTFS

アロケーション ユニット サイズ(A): 既定値

ボリューム ラベル(Y): DATA

☒ クイック フォーマットする(P)

☐ ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする(E)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

本製品に接続したドライブからWindowsを起動できない

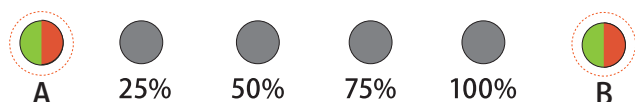
本製品に接続したドライブからは、Windowsは起動できません。

クローンを実行しても処理が進まない

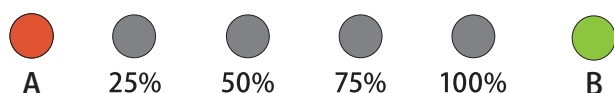
上面のランプが以下のように点灯している場合、原因1、原因2を参照してください。

緑色点灯:  赤橙点灯:  赤橙と緑の点滅:  消灯: 

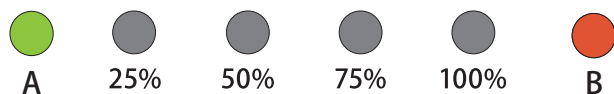
クローン先のドライブの容量が、クローン元よりも少ないとき



A スロットのドライブの S.M.A.R.T. 情報に異常があるとき



B スロットのドライブの S.M.A.R.T. 情報に異常があるとき



原因 1

クローン先のドライブの容量が、クローン元よりも少ない。

対策 1

クローンを行うには、クローン先のドライブの容量が、クローン元のドライブと同容量もしくはそれ以上の容量である必要があります。

ここでの「容量」とは、ドライブの使用容量ではなく、ドライブの全容量を示します。

たとえば、下記のような場合は、上記の制限のためクローンを実行できません。

- クローン元: 全容量が500GB(そのうち、80GBを使用)
- クローン先: 全容量が250GB(新品で未使用)

メモ: 上記の場合は、クローン先に全容量が500GB以上のドライブを使用するとクローンできます。

原因 2

クローン元のドライブやクローン先のドライブが正常に動作していない。または、S.M.A.R.T.情報に異常がある。

対策 2

ドライブが故障している場合や、ドライブに回復できない不良セクターなどがある場合は、クローンできません。

正常に動作するドライブでクローンを実行してください。

原因3

本製品がパソコンなどに接続されている。

対策3

いったん本製品の電源をOFFにしてください。

その後、USB ケーブルを本製品から取り外して、もう一度電源を入れてください。

背面のCLONEボタンを上面の25%、50%、75%、100%ランプが白色点滅するまで(3秒以上)押し続けます。

CLONEボタンを一旦離してからもう一度押すとクローンを実行します。

クローンでドライブを認識しない

クローン元またはクローン先のドライブに致命的なエラーがある場合、AランプとBランプが点灯せずドライブが認識されない状態になることがあります。ドライブの状態を確認してください。

クローン元とクローン先が同容量なのにクローンできない

容量クリッピング(制限)されたドライブが含まれる場合、実際の容量が異なるためクローンできないことがあります。

クローンが途中で止まってしまう

クローン元やクローン先のドライブに動作不良などがある場合、途中で止まってしまうことがあります。ドライブの状態を確認していただき、正常に動作する状態でクローンを実行してください。

クローン元のデータ量よりクローン先のドライブの容量が大きいのに、クローンできない

ドライブの容量(使用容量ではなくドライブの全容量)について、クローン先がクローン元よりも少ない場合は、クローンできません。

例:80GBのデータが入っているSSDを、容量が250GBの新品のSSDへクローンできない。

詳細は、[「クローンを実行しても処理が進まない」\(P.26\)](#)の原因1を参照してください。

データドライブのクローン後に、クローン元とクローン先を同時にパソコンへ接続すると、1台しか認識されない

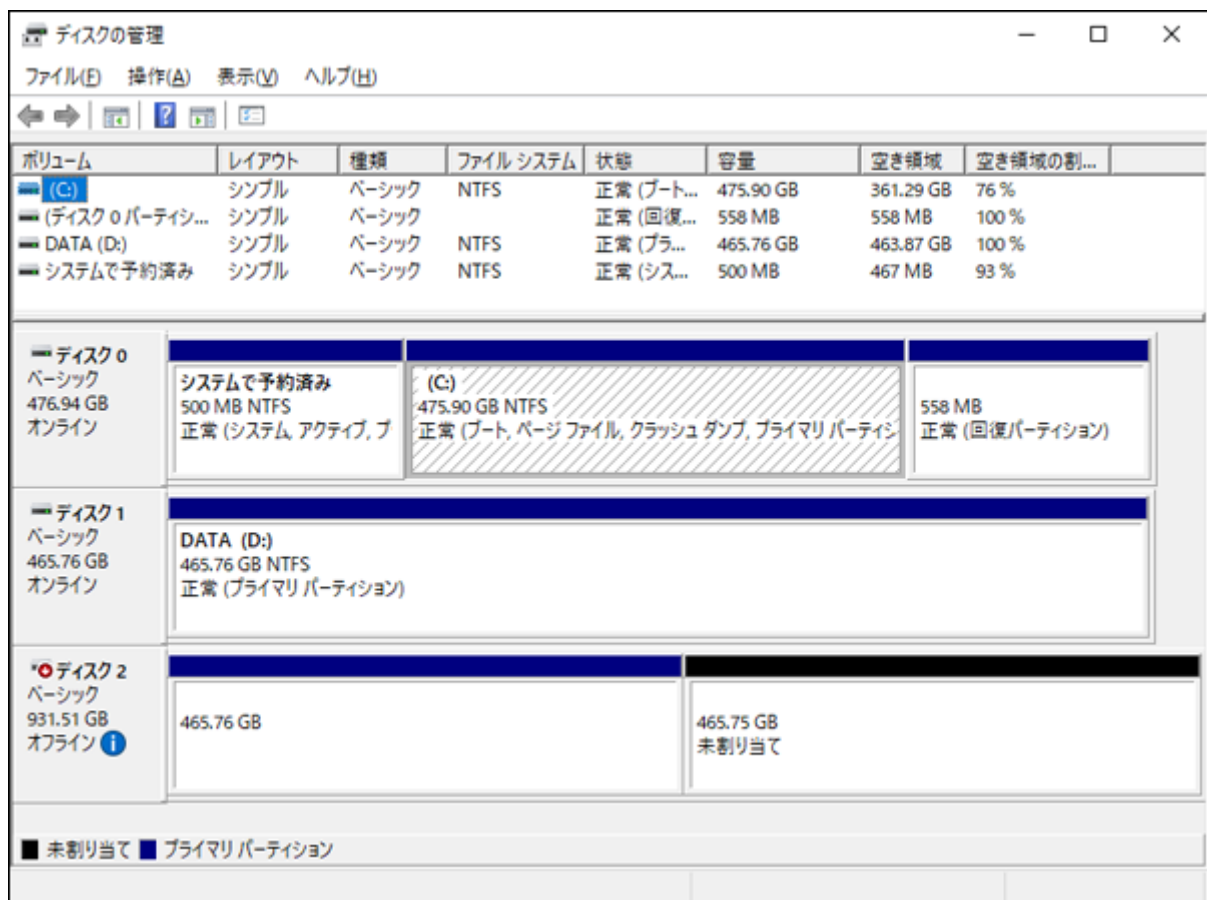
クローン元とクローン先のドライブを同時にパソコンへ接続すると、1台だけ認識されることがあります。その場合は、以下の手順でもう一方のドライブを認識させることができます。

1 Windowsの「ディスクの管理」画面を表示します。

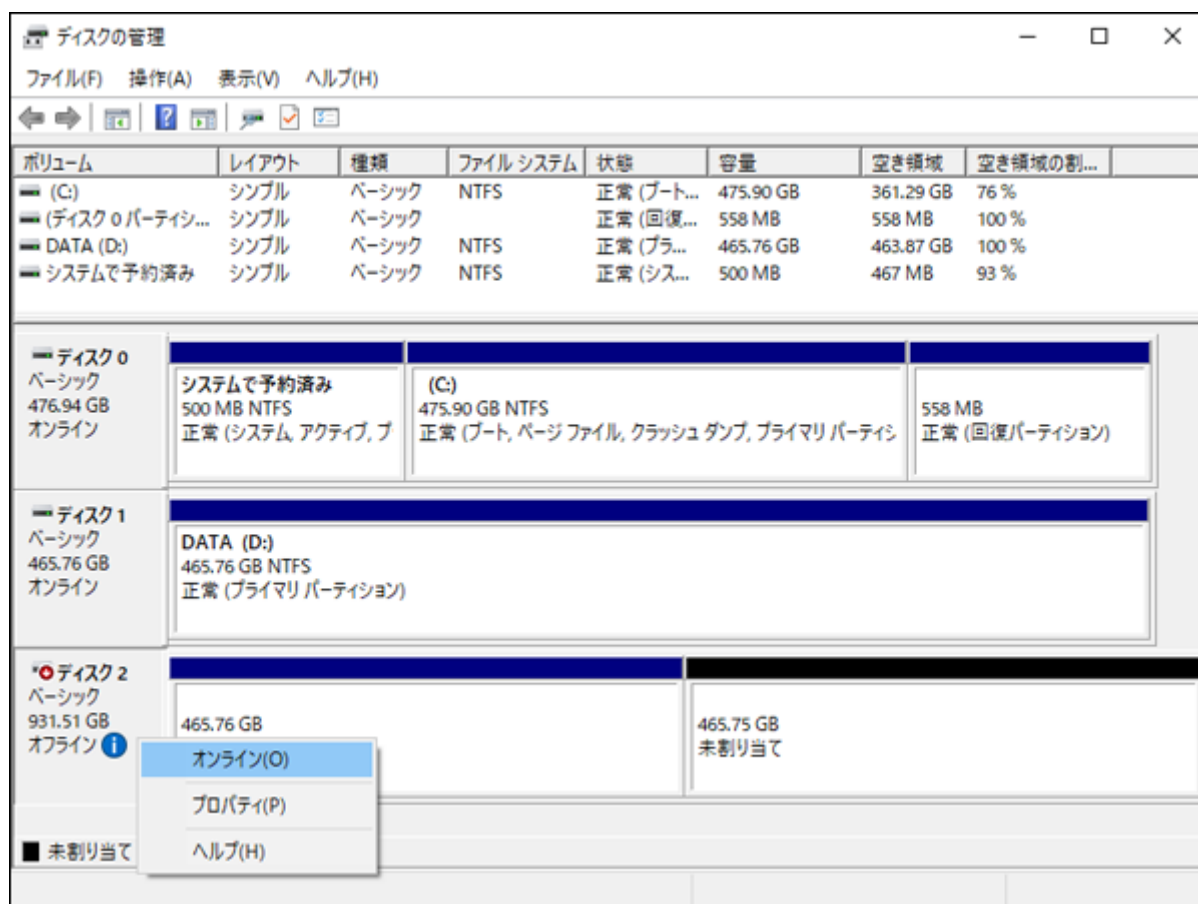
Windowsアイコン()を右クリックして、「ディスクの管理」を選択します。

メモ: 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」を選択します。

2 「オフライン」と表示されているディスク(以下の画面では「ディスク2」)を確認します。



- 3 「オフライン」と表示されている部分(以下の画面では「ディスク2」)を右クリックし、「オンライン」を選択します。



4 ディスク(以下の画面では「ディスク2」)が「オンライン」に切り替わったことを確認します。

ディスクの管理								
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)								
ボリューム	レイアウト	種類	ファイル システム	状態	容量	空き領域	空き領域の割...	
(C:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (ブート...	475.90 GB	361.29 GB	76 %	
(ディスク 0 パーティシ...	シンプル	ベーシック		正常 (回復...	558 MB	558 MB	100 %	
DATA (D:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (ブラ...	465.76 GB	463.87 GB	100 %	
DATA (E:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (ブラ...	465.76 GB	463.87 GB	100 %	
システムで予約済み	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (シス...	500 MB	467 MB	93 %	

ディスク 0 ベーシック 476.94 GB オンライン	システムで予約済み 500 MB NTFS 正常 (システム, アクティブ, ブ	(C:) 475.90 GB NTFS 正常 (ブート, ページ ファイル, クラッシュ ダンプ, プライマリ パーティシ	558 MB 正常 (回復パーティション)
--	--	---	--------------------------

ディスク 1 ベーシック 465.76 GB オンライン	DATA (D:) 465.76 GB NTFS 正常 (プライマリ パーティション)		
--	---	--	--

ディスク 2 ベーシック 931.51 GB オンライン	DATA (E:) 465.76 GB NTFS 正常 (プライマリ パーティション)	465.75 GB 未割り当て	
--	---	--------------------	--

■ 未割り当て
■ プライマリ パーティション

以上で完了です。

クローンで「未割り当て」になった領域を使いたい

容量の小さいドライブから、容量の大きいドライブへクローンした場合、残りの容量が「未割り当て」になります。

「未割り当て」領域を使用するには、以下の2つの方法があります。

- ・ 方法1 「未割り当て」に新しいドライブを割り当てる方法
- ・ 方法2 「未割り当て」の前にある領域を拡張する方法

方法1 「未割り当て」に新しいドライブを割り当てる方法

「未割り当て」に新しいドライブを割り当てる場合の手順は、[「フォーマット方法」\(P.11\)](#)と同等です。そちらを参照してフォーマットを行ってください。

メモ:「ディスクの初期化」画面(MBRとGPTの選択画面)は表示されません。

方法2 「未割り当て」の前にある領域を拡張する方法

以下の手順で設定してください。

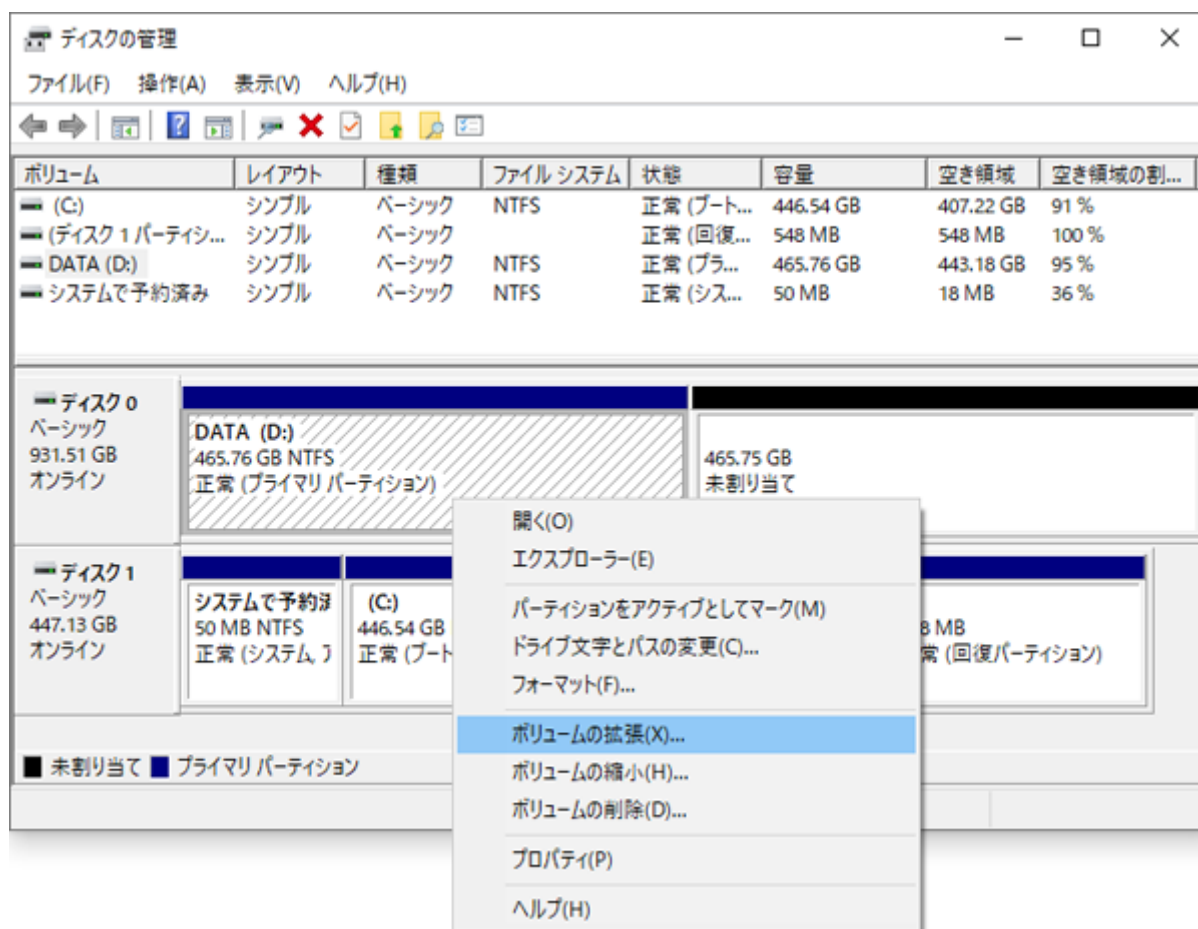
メモ: この方法は、データを保持したまま領域を拡張することができますが、お使いの環境によっては設定できない場合があります。特にシステムドライブをクローンした場合、Cドライブの領域の後ろに回復パーティションがあるときは、Cドライブは拡張できません。

1 Windowsの「ディスクの管理」画面を表示します。

Windowsアイコン()を右クリックして、「ディスクの管理」を選択します。

メモ:「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[はい]を選択します。

- 2 「未割り当て」の前にある領域(以下の画面ではDドライブ)を右クリックし、「ボリュームの拡張」を選択します。



3 [次へ]をクリックします。



4 [次へ]をクリックします。

ボリュームの拡張ウィザード

×

ディスクの選択

1 つ以上のディスクの領域を使用してボリュームを拡張することができます。

利用可能なディスク(V):

追加(A) >

< 削除(R)

< すべて削除(M)

選択されたディスク(S):

ディスク 0 476929 MB

ボリューム サイズの合計 (MB):

953866

最大ディスク領域 (MB):

476929

ディスク領域 (MB) を選択(E):

476929

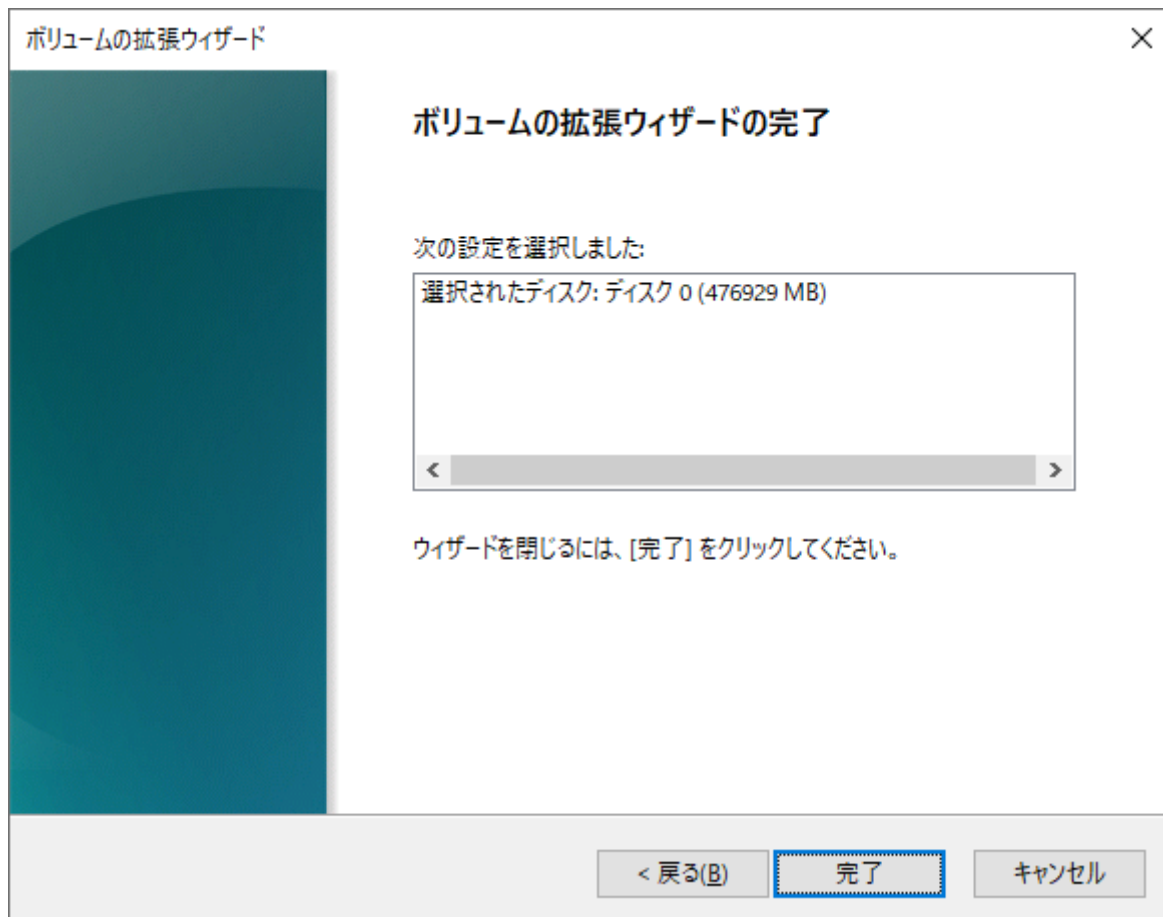
< 戻る(B)

次へ(N) >

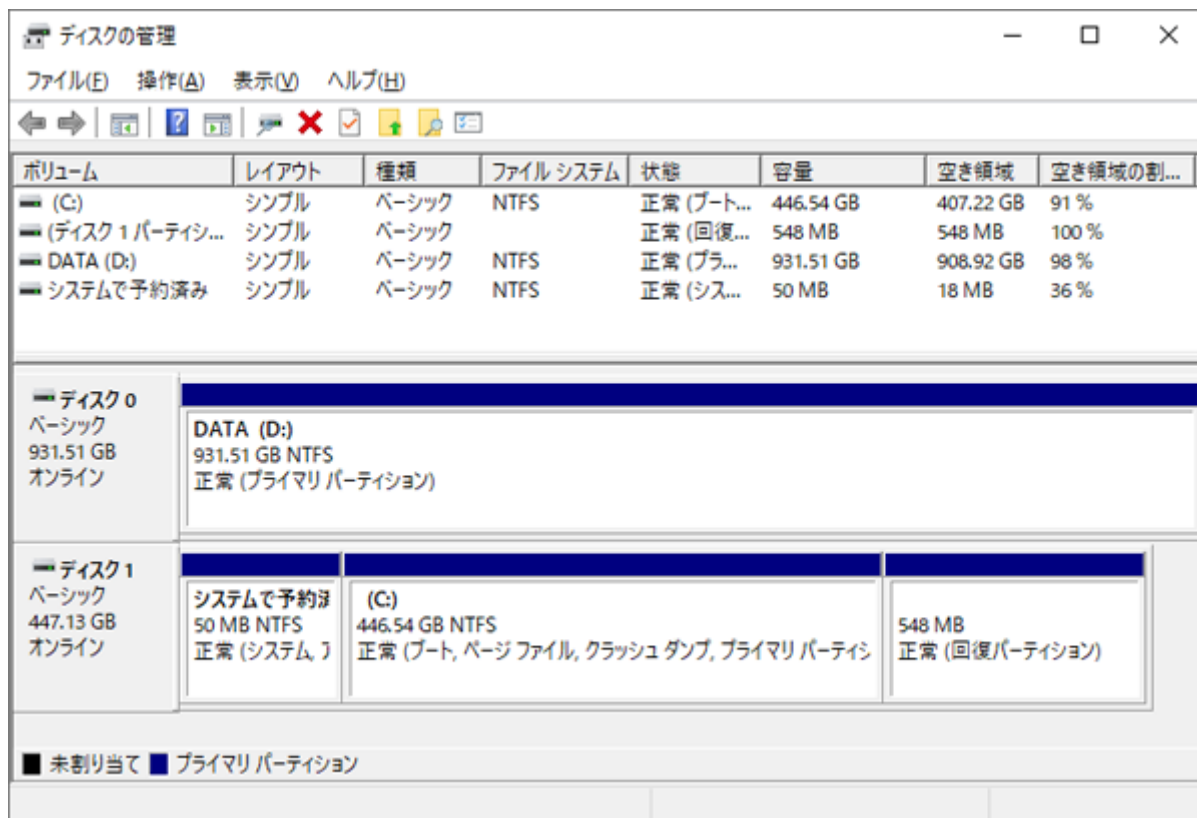
キャンセル

メモ:「ディスク領域(MB)を選択」は、通常は初期設定のまま変更する必要はありません。パーティションを区切って、複数のドライブとして使用する場合は、任意の容量を設定してください。

5 [完了]をクリックすると、領域が拡張されます。



6 手順2で選択した領域(以下の画面ではDドライブ)が拡張されていることを確認します。



以上で完了です。

付録

本章では、本製品の仕様やその他の情報について説明します。

製品仕様

インターフェース	USB 3.2 Gen 1/USB 3.0/2.0(タイプBソケット)
対応ドライブ	2.5型/3.5型 SATA HDD/SSD(合計2台まで)
データ転送速度	USB 3.2 Gen 1接続時 最大5Gbps(理論値)
対応OS	Windows 11/10/8.1
外形寸法	L135×H70×W152mm(本体のみ、突起部除く)
質量	約300g(本体のみ)
電源	専用ACアダプター(付属品)

メモ: 動作確認済み機器の検証は当社内のテスト環境において独自に評価した結果であり、すべての環境での動作を保証するものではありません。TVメーカーおよび販売店へのお問い合わせはご遠慮ください。

本書について

- 本書の著作権は、シー・エフ・デー販売株式会社(以降、「当社」と表記します)に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、玄人志向メールサポートフォーム(https://www.kuroutoshikou.com/help/kurouto_mailsupport/)までご連絡ください。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

免責事項

- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計・製造されています。日本国外での使用における故障・不具合についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に契約の不適合があった場合、無償にて当該契約不適合を修補し、または契約不適合のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該契約不適合に基づく損害賠償の責に任じません。
- 本書に記載された責任は、日本国内においてのみ有効です。

商標・登録商標

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では一部を除き、™、®、©などのマークは記載していません。